

製品名: PI 3 キナーゼクラス 3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16091**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	PIK3C3 VPS34
別名	phosphoinositide-3-kinase, class 3
遺伝子 ID	5289.0
SwissProt ID	Q8NEB9
免疫原	PI 3 キナーゼクラス 3 の合成ペプチド

背景

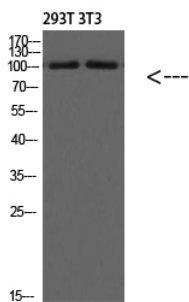
触媒活性: $\text{ATP} + 1\text{-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール} = \text{ADP} + 1\text{-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール 3-リン酸}$ 。補因子: マンガン。機能: PI3K 複合体の触媒サブユニット。リソソーム酵素前駆体のリソソームへの輸送に関与する。類似性: PI3/PI4 キナー

ゼファミリーに属する。類似性: 1つのPI3K/PI4Kドメインを含む。サブユニット: AMBRA1 および BECN1 と複合体を形成する可能性が高い(類似性に基づく)。ヘテロ二量体。このサブユニットは、調節サブユニットと触媒サブユニットからなる複合体の一部であり、調節サブユニットPIK3R4と会合する。組織特異性: 普遍的に発現し、骨格筋で最も高い発現を示す。触媒活性: ATP + 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール = ADP + 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール3-リン酸。補因子: マンガン。機能: PI3K複合体の触媒サブユニット。リソソーム酵素前駆体のリソソームへの輸送に関与する。類似性: PI3/PI4キナーゼファミリーに属する。類似性: 1つのPI3K/PI4Kドメインを含む。サブユニット: おそらく AMBRA1 および BECN1 と複合体を形成する(類似性に基づく)。ヘテロ二量体。このサブユニットは、調節サブユニットと触媒サブユニットからなる複合体の一部であり、調節サブユニットPIK3R4と会合します。組織特異性: 普遍的に発現し、骨格筋で最も高く発現します。、

研究分野

イノシトールリン酸代謝;ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系;オートファジーの調節;

画像データ



PI3キナーゼクラス3ポリクローナル抗体(1:1500希釈)を用いた293T 3T3細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。